



JAがお届けする情報誌

2019

No. 162

10

たねや

JAバンク鹿児島
JA・信連・農林中金

育てよう明日を
JAグループ鹿児島

JAバンク鹿児島
JA・信連・農林中金

JAバンク鹿児島
JA・信連・農林中金



県年金友の会ゴルフ大会
JA種子屋久 団体の部 優勝!!

ホームページ <http://www.ja-taneyaku.or.jp/>

令和元年度 JA種子屋久

協同組合大学開講式

「9月25日」本所会議室で、JA種子屋久協同組合大学開講式を開催しました。

幅広い視点を持った地域・農業を担う次世代リーダーの育成を目的に、8名の受講生が第3期生となりました。

開講にあたり中央会の瀬戸口教育部長を講師に「JAのあゆみと仕組み、そして今なすべきこと」と題した講義がありました。また、第1期生でもある集落営農組合「百笑一喜」の杉為昭組合長より、過去の農業と人の結びつきが崩れた要因や現在の農業を取り巻く環境を分析、これから求められる農業のあり方、農家とJAの関係性について講話を行われました。

受講生からは、「講演会や学びの場が少ないと感じていた中、協同組合大学に参加できてうれしく思う。」との声もありました。

当大学は、受講生の意見・要望を聞きながら、島外視察研修も合わせ、年5回開く予定です。



▲協同組合大学第3期生



見事団体の部 優勝

県年金友の会

ゴルフ大会授賞式

「9月27日」南種子支所で、県年金友の会ゴルフ大会授賞式が開催されました。

9月12日に霧島市で159名が出場したゴルフ大会で、見事団体優勝（南種子の長田時良さん、長田道春さん、三浦剛さん、一松きみ子さん）を果たし、授賞式には、テレビ取材もありました。

取材では、「今後も年金友の会の会員を増やしていきたい。また、来年もいけるよう練習に励みたい。」等コメントしていました。



▲見事優勝を果たしました

JA種子屋久共済部

スマイルサポーター

ロールプレイング大会

「9月7日」西之表支所で、共済部のスマイルサポーターロールプレイング大会が開催されました。

接客技術の向上を図ることを目的に、自動車共済に加入している利用者が来店したことを想定した窓口応対の実演には4名の職員が出場しました。

現在の加入状況説明からお客様のニーズにあった提案まで、10分間の接客を競い合った結果、南種子支所の砂坂勇作さんが最優秀賞に輝きました。



▲最優秀賞に輝いた砂坂勇作さん

冬野菜に発生しやすい病害虫と防除

※農薬の希釈倍率は作物によって異なりますので使用時にラベルを確認してください。また、ご不明な点は、最寄りの営農販売課へお尋ねください。



経済部
営農販売課
営農指導係長
川下 日道

・軟腐病

発生しやすい作物・・・白菜、キャベツ、バレイショ他
特徴 ・多くの種類の野菜で発生する。
・害虫の食害痕等の傷口から侵入し、高温・多湿で発生しやすい。
農薬名：コサイド 3000、Zボルトー



・白斑病

発生しやすい作物・・・白菜、大根、南瓜
特徴 ・晩秋から冬にかけて、雨の多い年に発生が多い。
・早まき、連作、肥料切れは発生を助長する。
農薬名：ダコニール 1000、アミスター 20 フロアブル



・べと病

発生しやすい作物・・・白菜、ホウレンソウ、ネギ類他
特徴 ・晩秋及び春先の低温・多湿で発生しやすい。
・早まき、連作、肥料切れは発生を助長する。
農薬名：ダコニール 1000、プロポーズ顆粒水和剤



・菌核病

発生しやすい作物・・・キャベツ、レタス、ブロッコリー他
特徴 ・露地では3～4月、トンネルでは冬でも低温・多湿条件で発生。
・気温20℃前後で曇天が続いたときに発生しやすい。
農薬名：カンタスドライフロアブル、アミスター 20 フロアブル



・アザミウマ（スリップス）類

発生しやすい作物・・・ネギ類、マメ類他
農薬名：ディアナSC、モスピラン顆粒水溶剤



・コナガ・ヨトウムシ類

発生しやすい作物・・・キャベツ、白菜、など葉物野菜
農薬名：ディアナSC、フェニックス顆粒水和剤、プレオフロアブル



・キスジノミハムシ

発生しやすい作物・・・大根、葉物野菜
農薬名：スタークル粒剤、モスピラン顆粒水溶剤



・ハモグリバエ

発生しやすい作物・・・マメ類、ナス科など
農薬名：ディアナSC、マラソン乳液



双子座
5/21
～6/21

【全体運】 心理的に不安定になりやすいよう。笑顔を心掛ければ、自然に気持ちも上向きに。野菜中心の料理がお勧め
【健康運】 体を動かすほど、健康に近づく時期
【幸運を呼ぶ食べ物】 ニンジン

～ でん粉原料用甘藷生産者の皆様へ ～

令和元年度でん粉原料用甘藷の早期操業が一斉にスタート。待ちに待った原料用甘藷の収穫作業に管内各地があわただしくなりました。

集荷はでん粉原料用甘藷集荷配分に基づき島内の4工場による一元集荷体制で行われ、集荷期間及び受入時間は次のように予定しております。

【早期操業】 令和元年10月3日（木）～10月5日（土）

【本操業】 令和元年10月11日（金）～11月30日（土）

※ただし下記に定める日は、全工場休業日となりますので、ご注意ください。

令和元年10月23日（水）・11月6日（水）・11月20日（水）

【受入時間】 午前7時30分～午後6時（午後0時30分～午後1時は受入中止）

※受入最終日の受入時間は午後5時まで

また、9月10・13・17日に種子島各地区において、でん粉原料用甘藷の坪堀調査が実施され、10アール当りの見込俵数は次の結果になりました。

*西之表地区 59.0俵 *中種子地区 66.0俵

*南種子地区 60.0俵

令和元年度でん粉原料用甘藷集荷要領

令和元年度でん粉原料用甘藷の収穫・出荷方法については、今年度も下記の注意点を遵守して頂きますようよろしくお願いします。

①尻根部分の除去は行わなくても差し支えありませんが、なり口部分については必ず除去して下さい。

②できる限り付着している土砂を取り除いて下さい。

特に、圃場内でバケツに甘藷を入れてダンプに積み込む場合は、ご注意下さい。

③腐敗の甘藷については、出荷できませんので、ご注意ください。

※俵換算の皆掛重量は、クズ芋込みで40kgとしますが、病害虫による被害芋、雨天・雨天後のダンプでの持ち込みについては、受け入れ検査員立会いのうえ、歩引きする場合がありますので、ご注意下さい。

＜令和元年度原料用甘藷価格のお知らせ＞

令和元年度産原料用価格が決まりましたので、お知らせします。

原料用価格（1俵あたり）：364円

交付金価格（1俵あたり）：998円

合計：1,362円 / 俵 （前年比：+37円）





～自己改革への挑戦～

農家経営支援センターの取り組み



[8月27日] JA全中主催のJA営農・経済フォーラム（営農・経済事業改革を深化させるのが狙い）が福岡市で開催され、先進的に自己改革を進める西日本の4JAの取り組み発表が行われました。JA種子屋久から西村俊夫参事が「組合員に寄り添う事業展開を」と題した農家経営支援センターの取り組みについて発表しました。

複数部署に分かれていた農業経営の相談窓口を、「農家経営支援センター」に一本化し、**農家組合員に向けた、JA組織の最大の見える化が図られ、情報発信になったことを発表しました。**

農家経営支援強化

①農家の「声」を収集する活動の実施

- 各支所合計4カ所にTAG（総合渉外）を設置し「出向く体制」を整備
- 認定農業者や新規就農者を中心に訪問活動を展開

②農家の声の共有化とその対策検討の実施

- TAGが収集した意見・要望を管理台帳にまとめ、定例会（毎週）で共有化を図り、毎月開催されるサポート共同対策会議（TAG、各支所長、部門長の構成また中央会、各連合会も参画）にて、具体的に出された対応策について連携して取り組んでいる。四半期に1回、運営協議会で、常勤役員へ報告と組織内での情報共有を図る。

③多様化する農家に対応できる担当者の設置

- 大規模農家・法人担当を1名設置
 - ・労働力に応じた閑散期の品目組み合わせの提案や経営面での支援強化（今後の目標）
- 農業基盤維持対策（集落営農組織の設立支援）、行政書士等との連携による法人設置支援



④行政等、関連機関との連携

- 行政と連携した担い手確保・育成対策強化
 - ・就農相談から定着までの支援や営農に係る研修等の対応、認定農業者の育成、現地での栽培管理支援



⑤農家経営支援事業による農家経営の高度化支援

- 生産・販売データを活用した生産販売カウンセリングの促進
 - ・生産販売カウンセリング品目拡大
- 青色申告会による記帳代行と経営支援の取り組み拡大
 - ・税務支援から一歩進んだ経営カウンセリングの促進



獅子座
7/23
～8/22

【全体運】 やや停滞気味。問題発生時には、周囲の意見に耳を傾けるとグッド。厄払いにリビングや寝室の掃除も有効です
【健康運】 軽い運動にツキ。散歩や体操を楽しんで
【幸運を呼ぶ食べ物】 シシャモ

一年間の農家経営支援センターの取り組みを進めての効果

①農業基盤を守る集落営農組織設置（2018年12月）

・受託作業実績（H30）55.3ha

②出向く体制の拡充（組合員ニーズの把握）

- ・事業の総合窓口として意見、要望を聴く体制の整備
- ・細かい要望をJA内部で共有し迅速な体制改善の実施

③組合員の所得向上

- ・個別カウンセリングの実施（92名）による経営改善
- ・青色申告記帳代行強化による節税対策

記帳代行（H29）340件 → （H30）355件

- ・法人の設立支援（1法人化 2018年6月登記）

④組合員との関係性強化

- ・出向く体制により希薄だった担い手との関係性が強化
- ・支援センターに対する組合員の期待感の向上

TAG訪問件数

1,649件

意見・要望の件数

119件

今後の事業展開について

農家経営支援センターを新設して、1年間、運営をしてきました。

目に見えるような実績としては、そこまで出てきていませんが、自己改革の根本である、農家の所得増大と生産拡大、地域農業の振興を図っていくために、今後、支援センターとして、以下のような事業に取り組んでいく考えです。

①幅広い知識（販売面）を有する担当者の育成

②農業生産の基本となる土壌診断（土づくり）に取り組み、経営分析の強化による収量引き上げ

- ・より高度な経営カウンセリングの実践

③産地を支えてきた零細・高齢農家への支援

- ・軽量品目等の提案

④農業の労働力確保に向けた取り組み

- ・雇用対策

⑤青色申告会の会員拡大、連携強化、節税対策の実施

最後に、農家経営支援センターを設立したことにより、今後も、自己改革による『収入拡大・コスト抑制対策への見える化・情報発信』に取り組んでいきます。

【農家経営支援センター担当者】

TAG（タッグ）とは・・・総合渉外担当の愛称 チームタネヤク アドバイザー グッドウィルの略
『親切心をもって、農家と向き合っていく』という意味

TAG （西之表）榎本 恵里子 TEL：080-8578-4322

（中種子）川原 信也 TEL：080-8382-8721

（南種子）松村 隆浩 TEL：080-8558-7500

（屋久島）石川 秀岳 TEL：090-8768-5050

担い手・法人対策 徳永 洋祐 TEL：080-8559-0062



JA自己改革に関する 組合員アンケート結果のお知らせ

JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、自己改革に取り組んできました。これらの取り組みについて、組合員の皆さまからの評価をいただくため、現在、「JAの自己改革に関する組合員調査」を実施しています。

本年5月末までに、種子屋久で7,166人の組合員からご回答をいただきました。組合員の皆さまには、ご協力をいただき、まことにありがとうございました。

このたび、皆さまからいただいた調査結果を、中間集計結果としてご報告させていただきます。（当JAの調査結果は左のページに記載しています。）

なお、最終調査結果については、令和2年5月頃を目途にとりまとめる予定です。調査結果については、次ページに掲載しております。

「JAの自己改革に関する組合員調査」 中間集計結果のご案内

JAグループサポーター
林 修先生

林先生コメント

回答者数

約 **319** 万人

自己改革への評価

期待度 約7～8割が「期待している」

満足度 約6割が「満足」

改善度 約8割が「改善した」・「もともと良い」

総合事業の継続

約9割が「総合事業を継続すべき」

准組合員の事業の利用の制限

約9割が「制限しない方がよい」

●今回の中間調査結果では、全国で3,193,640人という、非常に多くの組合員からの声が寄せられました。おそらく、民間実施の調査では最大規模の調査ではないでしょうか。

●JAの自己改革について、農業関連事業が「改善した」「もともと良い」との声は約8割。また、約9割の組合員から、「総合事業を継続すべき」との声もいただいています。

●JAは協同組合。これからも、組合員との対話を大事に、組合員の声に基づいて地域に必要なサービスを提供し、利用してもらうことで、農業と地域を支えていってほしいですね。

JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、自己改革に取り組んできました。これらの取り組みについて、組合員の皆さまからの評価をいただくため、現在、「JAの自己改革に関する組合員調査」を実施しています。

本年5月末までに、全国で3,193,640人の組合員からご回答をいただきました。組合員の皆さまには、ご協力をいただき、まことにありがとうございました。

このたび、皆さまからいただいた調査結果を、中間集計結果としてご報告させていただきます。

なお、最終調査結果については、令和2年5月頃を目途にとりまとめる予定です。

▶ 調査期間

平成30年12月～
令和元年12月

▶ 調査対象者

全国の正・准組合員

▶ 中間集計の実施時期

令和元年5月末



組合員の皆さまと
可能な限り
直接お会いして
調査にご協力
いただきました。



組合員宅で組合員調査を説明する職員（JA西びわこ）



集落座談会や研修会等の場で説明、回答を依頼（JAさが）

JAグループ 耕そう、大地と地域の未来。



天秤座
9/23
～ 10/23

【全体運】 いきなり高評価を目指さず、「急がば回れ」で取り組んだ方が成果につながります。リフレッシュは露天風呂へ
【健康運】 体力過信にご用心。準備運動は念入りに
【幸運を呼ぶ食べ物】 ハクサイ

JA たねやく
2019・10

8

JAの自己改革に関する組合員調査（種子屋久）

01

自己改革への評価

（単位：％）

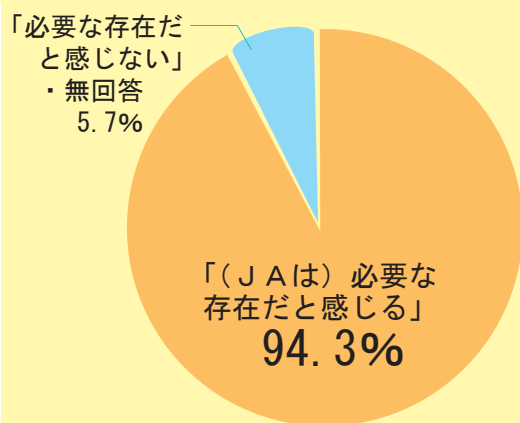
	期待度	満足度	改善度
	「期待している」	「満足」	「改善した」・ 「もともと良い」
営農指導事業	94.6	89.2	85.1
農畜産物販売事業	93.9	87.4	86.2
生産資材購買事業	93.3	86.8	85.3

● 自己改革の取り組みについての評価は、営農指導事業、農畜産物販売事業、生産資材購買事業ともに、高い評価をいただいています。

（※）期待度は「期待している」「やや期待している」「どちらかといえば期待」、満足度は「満足」「やや満足」「どちらかといえば満足」、改善度は「改善した」「改善しつつある」「もともと良い」を集計しています。

02

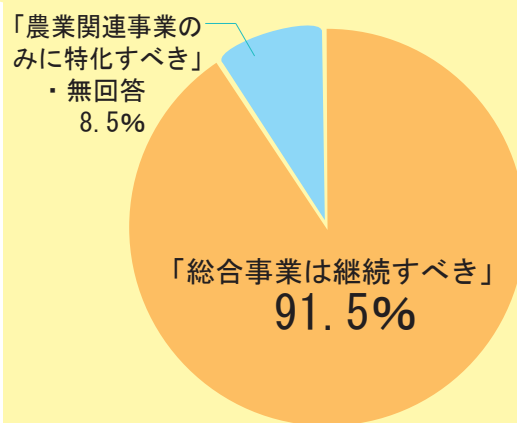
JAの必要性



● 正・准組合員の94.3%（全国93.5%）が、「（JAは）必要な存在だと感じる」と回答しています。

03

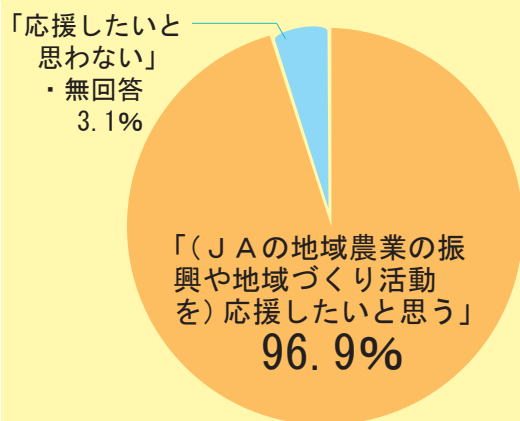
総合事業の継続



● 正・准組合員の91.5%（全国91.4%）が、「総合事業は継続すべき」と回答しています。

04

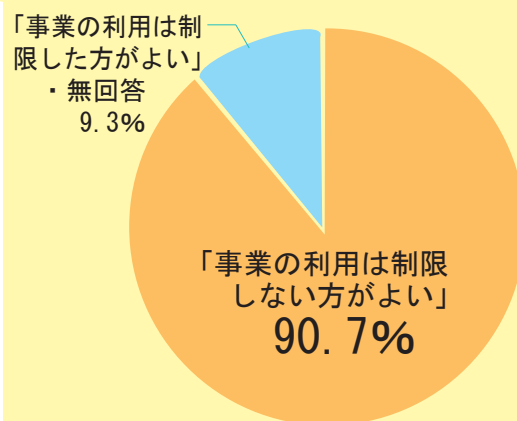
農業や地域づくりの応援



● 准組合員の96.9%（全国96.0%）が、「（JAの地域農業の振興や地域づくり活動を）応援したいと思う」と回答しています。

05

准組合員の事業利用の制限



● 正・准組合員の90.7%（全国88.9%）が、「事業の利用は制限しない方がよい」と回答しています。



令和2年度農業関係予算概算要求 決定！

本県JAグループおよび県農政連は、7月31日～8月1日にかけて令和2年度農畜産物対策に関する中央要請（農林水産副大臣や県選出国会議員等への要請）を実施いたしました。これらを踏まえ、8月30日に農水省は令和2年度農林水産予算の概算要求を決定し、財務省に対して今年度当初予算比18.2%増の大幅増となる2兆7,307億円の要求額を提出いたしました。

今回の概算要求は、「『スマート農業』の実現と強い農業のための基盤づくり」や「食の安全・消費者の信頼確保」など8つの柱立てに沿った要求となっており、本県JAグループが要請した主な事業について増額要求となっております。

今後、本県JAグループ・県農政連は、12月上旬～中旬の畜産、甘味資源作物対策の政策価格決定に合わせて、引き続き要請活動を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【令和2年度農畜産物対策に関する中央要請】



(8月1日 小里泰弘農林水産副大臣への要請)

【令和2年度農林水産概算要求の主な項目】

()内は令和元年度当初予算額

① 水田活用の直接支払交付金	3,215億円	(3,215億円)
② スマート農業総合推進対策事業	51億円	(5億円)
③ 強い農業・担い手づくり総合支援交付金	296億円	(230億円)
④ 持続的生産強化対策事業 (野菜・施設園芸、果樹、茶・薬用作物等、花きの支援対策)	233億円	(201億円)
⑤ 甘味資源作物生産支援対策	143億円	(108億円)
⑥ 畜産・酪農経営安定対策	(所要額) 2,230億円	(2,224億円)
⑦ 「人・農地プラン」実質化と農地中間管理機構等による 担い手への農地集積・集約化の加速	201億円	(170億円)
⑧ 消費・安全対策交付金	50億円	(20億円)
⑨ 家畜衛生等総合対策	61億円	(52億円)
⑩ 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進	122億円	(104億円)

(「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に係る経費や「総合的なTPP等関連政策大綱」を踏まえた農林水産分野における経費については、予算編成過程で検討。)

【本県の政策提案が概算要求に反映された主な内容】

()内は令和元年度当初予算額

〔畜産〕

- 家畜衛生等総合対策 全体額：6,086(5,198)百万円
 - ・家畜の伝染性疾患の海外からの侵入防止 1,124(422)百万円
(検疫探知犬の増頭など、水際での防疫措置の徹底を図る)
- 消費・安全対策交付金 全体額：4,993(2,017)百万円
 - ・病害虫・伝染性疾患の発生予防・蔓延防止
(豚コレラ発生地域等での農場への疾病侵入防止対策および)
ツマジロクサヨトウ等の重要病害虫のまん延防止策等を支援)

※ 令和元年度は、養豚農場の防護柵設置はALIC事業の「アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業(約60億円)」で支援。国に加えて、鹿児島県も独自助成を決定。

〔甘味資源作物〕

- 甘味資源作物対策生産支援対策 全体額：14,263(10,795)百万円
 - ・甘味資源作物生産性向上支援事業 2,193(一)百万円
(さとうきびや甘しょの生産振興に必要な農業機械の導入や土づくり、新品種への転換、生分解性マルチの導入、病害対策等への取組を支援)

※ これまで補正予算で措置されていたものを当初予算で計上するよう農水省から財務省へ概算要求。

〔共通事項〕

- 農業人材強化総合支援事業 全体額：23,753(21,003)百万円
 - ・農業次世代人材投資事業 16,477(15,470)百万円
(次世代を担う農業者となることを志向する50歳未満のものに対し、収納準備段階や経営開始時の経営確立を支援)

※なお、今回は農水省から財務省へ概算要求された内容であり、事業の措置や予算が確定したわけではありません。今後、財務省との折衝を通じて、本年12月末頃来年度予算案が閣議決定されていく見通しです。
概算要求に関する詳細なデータは、下記の農水省HPに記載されておりますので、ご参照ください。
(URL:<http://www.maff.go.jp/j/budget/2019/index.html>)



射手座
11/23
～ 12/21

【全体運】 周りとの調和をモットーに過ごしたい月。また、物質面より精神的なものに重きを置くことで、うれしい変化が
【健康運】 スポーツジムなどで体を鍛えようとラッキー
【幸運を呼ぶ食べ物】 のり

JA たねやく 10
2019・10



【女性部からのお知らせ】

J A 女性部では、せり市・年金支給日など J A の様々なイベントに参加し、お菓子・服飾品・野菜の販売や無料でのお茶のサービスを行っています。

イベント等で見かけた際は、ぜひお立ち寄りください。



おくやみ情報

農協葬祭ルミエール

任せて安心!! J A 葬祭

J A 葬祭は、愛とまごころ・感動の人柄葬で、故人とのお別れをお手伝いさせていただきます。深夜・早朝にかかわらず、担当者が速やかに対応・アドバイス致しますので、安心してお電話ください。

ご生前のご遺徳をしのび、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
ご了解を頂いた方のみ掲載しています。(敬称略)

● ルミエール西之表

【8月】

23日 永田 義彦 93歳 (伊関 柳原)
28日 本炭 ミヤ 98歳 (現和 武部)
30日 中園 道信 83歳 (現和 武部)

【9月】

14日 中村 ノリ子 88歳 (現和 西俣)

● ルミエール南種子

【8月】

19日 榎本 昭子 74歳 (島間 牛野)

【9月】

24日 川元 清暢 66歳 (島間 仲之町)

● ルミエール中種子

【8月】

17日 濱脇 巖 78歳 (野間 下田)
18日 日高 平太郎 84歳 (油久 西之町)
26日 濱川 スミエ 87歳 (星原 砂中)
27日 池山 澄雄 88歳 (南界 中田)

【9月】

02日 塩浦 スズ子 85歳 (岩岡 梶潟)
02日 知念 和夫 84歳 (油久 西之山)
03日 徳永 信廣 69歳 (南界 本村)
08日 知念 盛善 83歳 (油久 西之山)
10日 遠藤 明 69歳 (納官 春田)

もしもの時は、まずお電話ください。

ルミエール西之表 電話番号 23-4949

ルミエール中種子 電話番号 24-2444

ルミエール南種子 電話番号 24-2444

※令和元年8月16日～令和元年9月15日までを記載しております。



理事会だより

令和元年度 第6回理事会が9月6日に開催され、次の事項について審議されました。

◎主な協議事項

- ①健康情報等の取扱規程の制定について
- ②余裕金運用規程の一部変更について
- ③種子島中央青果（株）の役員推薦について

◎主な報告事項

- ①8月事業実施状況及び組合員の加入・脱退の状況について
- ②農産物集荷状況について
- ③令和元年度早期米最終集荷実績について
- ④令和元年度経営所得安定対策・水田活用の直接支払交付金に係る新規需要米（飼料用米）の取り組みについて
- ⑤第20回JAまつり2019の開催について
- ⑥令和2年度大卒・短大卒新採用試験結果並びに今後の採用スケジュールについて
- ⑦自動車・農機具合同展示会の実績について
- ⑧第52回熊毛地区畜産共進会及び第68回鹿児島県畜産共進会出品について

わたしたちの組合

正組合員数	4,459人
准組合員数	4,005人
出資金	30億1,094万円
貯金	485億7,114万円
貸出金	101億3,775万円
共済保有高	2,156億0,070万円
(9月24日現在)	

くらし・みどり・ふれあい家庭の総合家庭雑誌

～家の光～

「家の光」は、“協同のこころ”を家庭ではなくむ雑誌として、大正14年に創刊され、農家の主婦層を中心として、子どもからお年寄りまで、みんなで楽しく読める総合家庭雑誌です。読者参加の誌面づくりを大事にし、感動読み物、時事問題や料理、健康、子育て、高齢者介護や農業、家庭園芸など、「得する、役に立つ、元気になる」記事を満載しています。



水瓶座
1/20
～2/18

【全体運】 自己流にこだわり、物事を停滞させがち。謙虚に他の方法を探して。発想力アップには、お香をたくのが効果的
【健康運】 汗を流すと体調回復へ。運動を楽しんで
【幸運を呼ぶ食べ物】 フグ



魚座
2/19
～3/20

【全体運】 何事にも意欲的に臨めるはず。ひらめいたら、即動くのがベスト。ネットを通じて良い出会いがある可能性も
【健康運】 代謝促進を図って。マッサージが一番
【幸運を呼ぶ食べ物】 小豆



新しい夢 どんどん
育てよう明日を
JAグループ鹿児島

